

足立区奨学金返済支援助成候補者申請書

1 申請者

黒か青色のボールペン等で記入してください。(鉛筆や消えるボールペン不可)

フリガナ	アダチ ミホンタロウ		学校	国立 公立 ・私立 高等学校
氏名	足立 見本太郎			
(年齢)	平成〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇)			
現住所	〒120-8510 足立区中央本町1-17-			
電話番号	090-1234-〇〇〇〇			
eメールアドレス	'gakumu@city.adachi.tokyo.jp			

・日中連絡がつく電話番号を記入
・日中に連絡することがありますので、学務課助成係直通電話 03-3880-5977 と下記学務課アドレスを登録してください。
gakumu@city.adachi.tokyo.jp

※学校名は在学学校名を記入してください。

2 生計維持者

1	フリガナ	アダチ ミホンイチロウ		続柄	
	氏名	足立 見本一郎		父	
	現住所	〒120-8510 足立区中央本町1-17-	電話番号	〇〇 - 〇〇 - 〇〇〇	
2	フリガナ	ア		続柄	
	氏名	足立 見本花子		母	
	現住所	〒120-8510 足立区中央本町1-17-1	電話番号	〇〇 - 〇〇 - 〇〇	

・日中連絡がつく電話番号を記入
・日中に連絡することがありますので、学務課助成係直通電話 03-3880-5977 と下記学務課アドレスを登録してください。
gakumu@city.adachi.tokyo.jp

3 志望学校又は入学予定校 (令和7年)

第一志望	国立 公立 ・私立	第二志望
〇〇 大学		

令和7年4月に入学予定の方のみ記入
・具体的な志望校が決まっていない場合でも現在の志望校を記入
・入学先が決まっている場合は、第1志望の欄のみ記入

4 家族状況 (本人含む)

令和6年11月1日現在

	氏名	生年月日	続柄	
1	足立 見本太郎	平成〇年〇月〇日	本人	本人
2	足立 見本一郎	昭和〇年〇月〇日	父	生計維持者
3	足立 見本花子	昭和〇年〇月〇日	母	生計維持者
4	足立 見本百合子	平成〇年〇月〇日	姉	大学2年生
5				
6				

本人からみた続柄を記入

5 奨学金借受状況 (又は申込状況)

高校3年生で両方(高校分・大学分)を申し込む方はそれぞれ記入してください。

区分	高 校 分	大 学 分
該当する奨学金に○をつける	(○) 東京都育英資金	(○) 日本学生支援機構 第一種奨学金 (○) 足立区育英資金【貸付】
借入総額の金額が決まっている場合は、予定借入総額の金額を記入してください。	令和7年3月	令和7年4月～令和11年3月
借受額(予定総額)	1,260,000円	2,160,000円
借受額の1/2の額	630,000円…①	1,080,000円…①
助成金交付申請額 (①の額または100万円の少ない方の額)	630,000円	1,000,000円

6 進学をした(希望する)理由 (将来の夢などを本人が記入すること)

- ・「助成金交付申請額」は、借受額の1/2または100万円の少ない額を記入してください。
- ・金額は「日本学生支援機構第一種奨学金」分のみを記入してください

申込者本人ができるだけくわしく、将来の夢や進学したいという気持ちを記入してください。目安としては8割以上記入してください。本人以外の記入は、受け付けません。

(提出先) 足立区長

私は、足立区育英資金条例及び足立区育英資金条例施行規則に規定する事項を承知し、足立区奨学金返済支援助成を受けたいので申請します。

なお、この申請書の記載内容が事実と相違するとき、申込者の資格を欠くものとして、当該申し込みを無効とされても異議のないことを誓約いたします。また、申込書内容の確認のため必要があるときは、世帯全員の住民記録・税務状況や各奨学金決定・借入状況を官公署から閲覧され、記録することに同意します。

区への卒業後の就職先の情報提供など、事業効果の検証に協力します。

令和6年11月1日

自署

申請者(学生本人)氏名 足立 見本太郎

生計維持者氏名 足立 見本一郎

生計維持者氏名 足立 見本花子

※申請者・生計維持者氏名はそれぞれが自署すること。代筆不可